

# 働く意欲や自己有用感に つなげる「製品開発」

～オリジナルペーパーバックの作成～

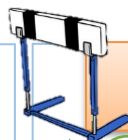
川西高等特別支援学校 桑原 留美子



## 誰もが漉きたくなる大紙へ



- ① 身近な材料を生かす分かりやすい活動  
1枚の大紙とは→15人分の牛乳パック  
→60枚(2?)のラミネート剥し  
→ペーパーバック1個分
- ② 機材の設置場所→作業室隣の休憩室に設置し  
誰の目にも触れられるように。



## 大紙漉き器(廃材利用)

- ① ミキサーに掛けた繊維を100枚(2?)  
余分に泳がせる。
- ② 大紙1枚分60枚(2?)を加えてかき混ぜ、  
均一になるのを待つ(2秒)



## 大紙漉き器(廃材利用)



- ③ 均一になるのを確認後、滑車の装置で  
ゆっくり引っぱり上げる。
- ④ ステンレスネット  
の上に一枚分の大紙の繊維がのる。



## もっとオリジナルでカッコよく



縄文の文様を入れる道具を  
創作。  
アイロン掛けによる模様付け。



## 実際の様子



休憩時間に、片隅で大紙漉きをやっていると、Aさんは、息抜きになるのか手を伸ばしてくる。水抜き用のローラーを促すと彼女らしい力加減で集中して行った。



## 成果と課題



完成した  
ペーパーバック

ペーパーバックを見たK生徒はO教諭と「デパートで使ってもらえそうなバックができたね」との対話において満足そうな表情になった。

- ① 数量を十分に確保し、文化祭等で生徒たちが実際に販売し、お客の笑顔に触れることを目指す。
- ② 今後、生徒の活動に落とし込んで行きたい。